

水辺空間整備に関する広報活動事業

—平成2年度宝くじ助成事業報告—

業務部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、憩いとレクリエーションの場等の役割を担っており、河川空間のこれらの機能に対する期待と要請も一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、河川改修を行う際、河川がうるおいのある良好な水辺空間となるよう、景観や親水に配慮して行われるようになってきている。

このような水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通して、河川愛護意識の普及をはかっていくことが重要である。

宝くじ助成事業による水辺空間整備の広報活動事業は、水辺空間整備に関する情報等を提供するとともに、宝くじ事業の公益性に関する一般の方々の理解を深める目的で、財団法人日本宝くじ協会より助成を受け行っているもので、平成2年度は51,440千円の助成金を受け以下の事業を実施した。

1. アメニティ・リバーフロント施設の設置

水辺空間整備を実施している地区において、アメニティ・リバーフロント施設（うるおいのある水辺空間の向上を図るため記念碑・塔、噴水等の施設）を設置することにより、さらに水辺空間の魅力が増し、地域の人々から親しまれることをねらいとして、次の3箇所に設置した。

- ① 葭川（千葉市）・ふるさとの川モデル河川記念塔
- ② 山崎川（名古屋市）・水と遊ぶ子供の像
- ③ 田布施川（山口県田布施町）・水辺のブロンズ像



「ふるさとの川モデル河川記念塔」



「水辺のブロンズ像」



「水と遊ぶ子供の像」

2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、次の6点を作成し、地方自治体、国の機関等に配布した。

- ① 「水辺空間整備」のパンフレット作成
- ② 川とつながりをもつ歴史・伝承・文化に関連する主要な近畿の川のリバーガイドマップ作成
- ③ 「みんなで育てる豊かな水辺」をキャッチ・フレーズとしたポスター作成
- ④ 「ふるさとの川モデル事業河川」をキーワードにしたカレンダー作成
- ⑤ 水辺の楽しみ方、豊富な川情報を満載した「川を楽しむー水辺の魅力再発見ー」の作成
- ⑥ リバーフロント整備に関する水文化情報等のリバーフロント啓発資料の作成

平成3年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う計画であり、特にアメニティ・リバーフロント施設は、水辺空間の景観等にマッチしたモニュメントとしての位置づけることが多く、施設は当センターが設置し、完成後市町村に寄贈することとしている。

なお、アメニティ・リバーフロント施設等の詳細は、業務部におたずね下さい。